

主日礼拝

2025年2月23日
午前10時30分

前奏 「イエスは来たりぬ(356番)」
(E.マニユス, M・レーガー)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。
喜び祝い、主に仕え
喜び歌って御前に進み出よ。
知れ、主こそ神であると。
主はわたしたちを造られた。
わたしたちは主のもの、その民
主に養われる羊の群れ。」 (詩編 100:1~3)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ち ち 子 せ い れ い の ひ と り の 主 よ、 さ か え と ち
か ら は た だ 主 に あ れ、 と こ し え ま で。

アーメン。

交読詩編 103:1~5

司式者：わたしの魂よ、主をたたえよ。
会衆：わたしの内にあるものはこそって
聖なる御名をたたえよ。
司式者：わたしの魂よ、主をたたえよ。
会衆：主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。
司式者：主はお前の罪をことごとく赦し
会衆：病をすべて癒し
司式者：命を墓から贖い出してくださる。
会衆：慈しみと憐れみの冠を授け
司式者：長らえる限り良いものに満ち足らせ
会衆：驚のような若さを新たにしてくださる。

賛美 8-2,3 「心の底より」

Aus meines Herzens Grunde
詞：Georg Niede, 1525-1588

AUS MEINES HERZENS GRUNDE
曲：Eisleben, 1598

2 めぐみに つつまれ みまもりうけ、
3 いくし みふかき み手にゆだねん、

おそれと不安の 夜はすぎぬ。
この身も心も、日々の糧も、

あらたなる日 わが罪ゆるし、
共に生くる 愛する者も、

いのちをたまえと 切に祈る。
与えられしもの、そのすべてを。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげめさせたまえ。
み国を来させたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ エレイソン キリエ エレイソン
しゅよあわれみを しゅよあわれみを

キリエ エレイソン
しゅよあわれみを

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

聖書 マタイによる福音書 15:21～31

新約(新共同訳)P30

21 イエスはそこをたち、ティルスとシドンの地方に行かれた。22 すると、この地に生まれたカナンの女が出て来て、「主よ、ダビデの子よ、わたしを憐れんでください。娘が悪霊にひどく苦しめられています」と叫んだ。23 しかし、イエスは何もお答えにならなかった。そこで、弟子たちが近寄って来て願った。「この女を追い払ってください。叫びながらついて来ますので。」24 イエスは、「わたしは、イスラエルの家の失われた羊のところにしか遣わされていない」とお答えになった。25 しかし、女は来て、イエスの前にひれ伏し、「主よ、どうかお助けください」と言った。26 イエスが、「子供たちのパンを取って小犬にやっってはいけない」とお答えになると、27 女は言った。「主よ、ごもつともです。しかし、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくのです。」28 そこで、イエスはお答えになった。「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」そのとき、娘の病気はいやされた。29 イエスはそこを去って、ガリラヤ湖のほとりに行かれた。そして、山に登って座っておられた。30 大勢の群衆が、足の不自由な人、目の見えない人、体の不自由な人、口の利けない人、その他多くの病人を連れて来て、イエスの足もとに横たえたので、イエスはこれらの人々をいやされた。31 群衆は、口の利けない人が話すようになり、体の不自由な人が治り、足の不自由な人が歩き、目の見えない人が見えるようになったのを見て驚き、イスラエルの神を賛美した。

賛美 356 「インマヌエルの主イエスこそ」

Einer ist König, Immanuel sieget
 詞：Johann L. K. Allendorf, 1693-1773
 JESUS IST KOMMEN (EINER IST KÖNIG)
 曲：Köthen, 1733

インマヌエルの主イエスこそ
 とらわれたるひとびとを
 てきをやぶり世にかち、
 ときはなつすくいぬし。
 とわのいのち、とわのさち、
 あたえたもういつくしみ。

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1 | インマヌエルの主イエスこそ
敵を破り 世に勝ち、
とらわれたる 人々を
解き放つ 救い主。
永遠のいのち、永遠の幸、
与えたもう 一つくしみ。 | 3 | わが心よ、強くあれ。
わが魂、しずまれ。
戦いにも たじろがず
波風にも 動かさず、
共にいます インマヌエル
とこしえまで 支えたもう。 |
| 2 | 力強き そのみ手は
悩む者を 励まし、
愛に満つる み心は
頼る者を 見捨てず。
悲しみをも 痛みをも
憐れみもて いやしたもう。 | 4 | 富と力、国もまた
父の神の ものなり。
榮えと知恵 主に帰せよ、
ほふられし 小羊に。
わが内なる ものすべて
ほめたたえよ、聖きみ名。 |

説教 「共に変えられ成長する」

賛美 446 「主が手をとって起こせば」

詞：今柳善成, 1926-
 曲：新垣王敏, 1938-
 KAMI NO MIWAZA

1 主が手をとって おこせば、よろめくあし さえ
 2 主が手をのべて さわれば、とじた目はひらき
 3 ただ主を見つめ あゆめば、なみにもしずまず
 おどりあゆむ - よろこび。これぞかみのみわざ。
 ひかりをみる - うれしき。これぞかみのみわざ。
 おそれしらぬしんこうは、これぞかみのみわざ。

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1 | 主が手をとって起こせば、
よろめく足さえ
おどりあゆむよろこび。
これぞ神のみわざ。 | 2 | 主が手をのべてさわれば、
とじた目はひらき
ひかりを見るうれしき。
これぞ神のみわざ。 |
| | | 3 | ただ主を見つめあゆめば、
波にもしずまず
おそれ知らぬ信仰は、
これぞ神のみわざ。 |

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「主は泥沼より私を引き上げて下さる(129番)」 (A.グロス)

司式 大代 恵
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 玉理 照子